

THE MBPT NEWS

理学療法の医学的基礎研究会ニュース

2001年9月発行

第5号

発行人：小塚直樹

発行所：理学療法の医学的基礎研究会

編集者：山田崇史

事務局：札幌医科大学保健医療学部

理学療法学科 小塚研究室

〒061-8556 札幌市中央区南3条西17丁目

TEL 011-611-2111 (内2878)

FAX 011-611-2150

印刷：広島大学生協印刷部

目次

巻頭言：MBPTの進化と真価（小塚直樹）	1
Welcome MBPT 研究会のホームページ！	2
第5回理事会報告	3
会費の納入先案内	4
第6回理学療法の医学的基礎研究会総会報告	5
第6回理学療法の医学的基礎研究会学術集会報告	6
・学術集会印象記（発表者：肥田朋子、田崎洋光、参加者：片岡英樹）	
事務局からのお知らせ	8
第7回理学療法の医学的基礎研究会学術集会案内	9
職場紹介（独立行政法人産業技術総合研究所・金子文成）	11
理学療法の医学的基礎研究会設立趣意書	13
理学療法の医学的基礎研究会会則	13
編集後記	14
賛助会員広告	

巻頭言

MBPTの進化と真価

会長 小塚 直樹（札幌医科大学）

本研究会、創生期四年の任期を務められた前会長河上先生に替り、今年度から四年間、会長の任を執らせていただくことになりました札幌医科大学保健医療学部の小塚です。本研究会のここまでの道のりは、思えば山あり谷ありでしたが、結果的にみれば河上先生の牽引力のもと、我々にとって大切な登り坂を頑張って登り続けているという印象を持っております。ご存じの通りこの研究会は理学療法の根底にある医学的な基礎分野に焦点をあて、その様なテーマで学術集会を開催、学術誌を発刊する活動を続けてきました。この経過を私は「確実なる進歩、進化を遂げてきた」と評価しております。

さて生物学的な進化とは次の時代に対応できる生理的変異（ミューテーション）の繰り返しです。「進化論」で有名なダーウィンはガラパゴス島の2種類のイグアナ（海イグアナと陸イグアナ）を見て、そのように感じたそうです。元々は1種であったイグアナが遠い以前のどこかで、必然的に遺伝子レベルの生理的変異を起こした結果（進化）だろうと考えられます。つまり海中生活に対応できる個体と陸上生活に対応できる個体とは、自ずと細胞レベルで少しだけ異なっている（異質性）のです。これは個体と環境との関係が個体の分子レベルに影響を与えた適応の一例といえます。我々の研究会にも